

令和4年度 道徳授業公開 5年生

年 組	5年2組
教 材 名 (出展)	オーストラリアで学んだこと (東京書籍)
内容項目	礼儀
あらすじ 話し合ったこと	<p>&lt;あらすじ&gt;</p> <p>オーストラリアのシドニーに行ったとき「わたし」は、初めて会った人に挨拶をされ、それを返せなかったことが気になっていた。次の日、また会うことができた時、今度は勇気を出して挨拶をしてみると、とてもすがすがしい気持ちになることができた。その国の人と接することで、みんな同じ地球に住む仲間として交わす挨拶のさわやかさに気付き、外国で学んだ良い習慣を日常でも実行していこうという思いをもつことができた。</p> <p>&lt;話し合ったこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の「わたし」に、大人の人から挨拶をしてくれたことについて、「わたし」はどんなことを考えたのか話し合った。</li> <li>・挨拶をされて、すがすがしい気持ちになった経験を振り返り、これから、どのように生活していこうと考えたのかを話し合った。</li> </ul>
児童の反応 (感想)	<p>学校生活を振り返って考えていた児童が多く、クラスにある「あいさつ係」の活動のことがワークシートにたくさん書かれていた。中でも、「名前を付けて挨拶をしてもらえると、すごく嬉しかった。」という感想が目立った。日常生活を振り返り、犬の散歩をしている時や野球の試合での挨拶を思い出し、その時のさわやかな気持ちに共感することができていた。</p> <p>終末では、他の国の文化や習慣のよさに触れてもらおうと、在外教育施設で勤務していた時の写真をスライドで見せながら、主人公の「わたし」と同じように「この国に住まわせてくれてありがとう。」という気持ちを挨拶にこめて生活していたことを紹介した。写真に写る子供たちの様子を感じとりながら、同じ地球に住む仲間としてのつながりに、少しでもつながったことが、その後のあいさつ係の活動にも表れていてうれしく感じた。</p>

